



わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

目 次

株主の皆様へ…………… 1

トピックス…………… 2

連結決算のご報告…………… 5

経営成績、事業別の営業の成果
業績の推移
連結貸借対照表要旨、連結損益計算書要旨
連結キャッシュ・フロー計算書要旨、連結株主資本等変動計算書要旨

単体決算のご報告…………… 8

営業の成果、部門別営業の成果
業績の推移
貸借対照表要旨、損益計算書要旨

完成工事ハイライト…………… 10

会社の概況…………… 11

商号、沿革、設立、営業種目
資本金、株式の状況
大株主の状況、株価の推移
取締役および監査役
執行役員
事業所
リゾート事業のご紹介
(パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ)
(ホテル パサージュ琴海)

株主の皆様へ



代表取締役社長
水島 和紀

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第108期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の株主通信をお届けするにあたり、連結および単体を含め、会社の近況をご報告申し上げます。

当社では、このたび代表取締役社長 林田 紀久男が代表取締役会長に就任し、後任として私が社長に就任いたしました。社業発展のため専心努力いたす所存でございますので、今後ともいっそうのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当期におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機による世界経済の減速や株式市場の混乱、急激な円高の進行等により、企業業績が急激に落ち込み、景気は急速に悪化しています。

建設業界におきましては、昨年4月の暫定税率失効による公共工事の発注繰延べや景気悪化による民間設備投資の急激な減少、原油価格に連動した原材料価格の乱高下等により、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社および当社連結子会社(以下「当社グループ」といいます)は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動や、コスト削減の取り組み強化による収益力の向上、変動が激しい原材料価格への適切な対応等に努めてまいりました。

今後の展望につきましては、世界景気の一層の下振れ懸念や金融市場の動向など、景気をさらに下押しするリスクに十分留意する必要があります。

建設業界のおかれた状況は、追加経済対策による公共投資の増加が見込まれるものの、景気悪化による民間設備投資の大幅な減少や企業間の熾烈な受注競争等、一段と厳しい状況が予想されます。

このような環境にあっても、当社グループは、技術と経営に優れた企業集団としての真価を発揮して、技術力の向上、営業力の強化に努めるとともに、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、舗装工事、土木工事、製品販売の収益基盤の一層の確立を進めるとともに、建築、開発、プラントエンジニアリング、土壤浄化等の事業の収益力安定化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

株式会社 NIPPOコーポレーション

代表取締役社長 水島和紀

NIPPO の遮熱性舗装が 世界道路功績賞を受賞

世界に先駆けて開発した遮熱性舗装の取組みが評価され、当社は、国際道路連盟 (IRF) の世界道路功績賞 (2008GRAA ; Global Road Achievement Awards) を受賞しました。同賞は、道路開発で目覚ましい活躍を挙げ、先進技術を投入したプロジェクトを表彰するもので、当社の環境技術開発への取組みが世界の舞台で認められました。



ワシントン DC での授賞式の様子



※国際道路連盟 International Road Federation :

世界における道路および道路交通の進展に寄与することを目的に、1948年に設立された非営利の団体で、110余ヶ国518の道路関係団体が加盟する世界的な組織となっています。

HP : <http://www.irfnews.org/awards/current-winners>

NIPPO の遮熱性舗装

太陽光の熱吸収を防ぐことで、路面が熱くなるのを抑制する舗装です。路面からの輻射熱(遠赤外線)を減らして、「歩行者の暑熱感の軽減」やヒートアイランド現象など「都市部の熱環境改善」に貢献します。また、路面温度上昇を抑制することで、高温で流動しやすいアスファルト舗装のわだち掘れ抑制にも有効です。

詳しくは当社リーフレット「クールパービアス」「パーフェクトクールA」をご覧ください。



横浜市青葉台



皇居外苑



成田国際空港

ランブルストリップスが 国土交通省初のNETIS推奨技術に選定

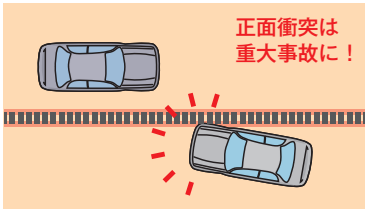
切削型注意喚起舗装「ランブルストリップス」は、独立行政法人土木研究所寒地土木研究所と当社にて共同研究開発を進め、実用化してきました。

このたび、国土交通省の新技术活用システム（NETIS）において、画期的技術として「平成 21 年度推奨技術」に選定され、4 月 13 日に公表されました。これは「全国で初めて」かつ「唯一」のものです。

ランブルストリップス 設置・供用状況



ランブルストリップスとは



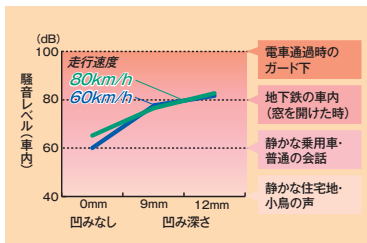
車両が車線を逸脱してタイヤがランブルストリップスを踏んだ際、ゴロゴロという音と振動を発生します

車両の車線を逸脱を振動や音によって運転者に警告する注意喚起舗装です。

車道中央部や路側帯の路面に切削凹みを一定間隔で設置し、車線を逸脱した車がその上を通過する際の車体に生じる振動や音により、運転者に警告を与えます。

特長

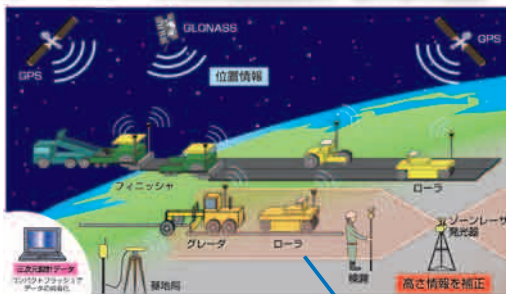
- ランブルストリップス上を通過すると大きな振動と音が発生するため、車線逸脱に対する高い警告効果が得られます。
- センターポールや道路鋸に比べ設置費用が安く、なおかつ短期間で施工できます。
- 設置路線では正面衝突事故件数が 52% 減少、また正面衝突事故による死者数が 70% 減少したことが報告されており（独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所 ランブルストリップスホームページ）、高い費用対効果が確認されています。
- 設置・施工・維持管理上の制約が少なく、除雪作業の支障にもなりません。
- 新設・既設を問わずアスファルト舗装路面（排水性舗装を含む）・コンクリート舗装路面のいずれにも適用可能です。



ランブルストリップス上を通過した際の車内騒音は、窓を開けた地下鉄の車内と同じような騒音（通常走行時に比べて 15～20dB 増加）が発生し、ドライバーに強い警告を与えます

GPS とゾーンレーザ技術による高精度情報化施工 NSPシステム NIPPO SPACE PAVEMENT SYSTEM

人工衛星を利用した測位情報とゾーンレーザ技術を組み合わせて、施工機械に入力した三次元設計データをもとに、グレーダやフィニッシャなどの施工高さを自動制御し、高精度な舗装の仕上がりを可能にしたシステムです。トータルステーションとは異なり、1台のゾーンレーザで複数の施工機械をコントロールできます。



特長

- 作業の合理化：丁張り設置や検測作業の削減、施工機械の一元管理が可能
- 高精度の施工：自動制御によりミリ単位での均一な路面仕上げ
- 安全性の向上：検測作業の削減で作業員と重機との接触事故防止
- 環境負荷低減：作業時間短縮に伴う、施工機械からのCO₂発生を低減



低騒音コンパクトフィニッシャによる 床版上面増厚工法

近年、「床版上面増厚工法」の敷きならしに、騒音や振動が少ない低騒音コンパクトフィニッシャを使用した施工例が増えてしています。このフィニッシャは、当社が開発したもので、従来の増厚用のフィニッシャの騒音レベル87dB程度を約10dB低減でき、さらに小型化によって搬入・搬出が容易になっています。

この低騒音とコンパクト化という強みを活かし、今後、都市部の高架や橋梁での施工において、非常に需要が見込まれています。



静岡県沼津市での国道の橋梁工事風景

低騒音コンパクトフィニッシャの特長

- 作業騒音を低減
- 従来の機と同等以上の性能を確保
- レールの設置・撤去が不要
- 大型クレーン作業が不要
- 軽量・コンパクト(4tトラックで運搬)

